

世界史

(問題)

2019年度

〈H31133419〉

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) 所定の欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I

下記の問題文を読んで、設問X・Yの答えをマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

地球の表面積の約3分の1を占める大海である太平洋は、しばしば世界史の重要な舞台となってきた。太平洋の存在がヨーロッパ人に知られるようになったのは16世紀のことであり、この時代、**A**によって「おだやかな海」を意味する太平洋の名が与えられた。その後、スペインの艦隊がアメリカ大陸と東南アジアを往復する航路の開拓に成功すると、現在のメキシコとフィリピンを往復するいわゆるアカプルコ貿易（ガレオン貿易）が発展した。17世紀に入ると、南半球に存在すると信じられていた巨大な南方大陸を探し求めるオランダ人が太平洋に進出し、タスマンはヨーロッパ人として最初にタスマニア島、フィジー諸島や**B**に到達したとされる。18世紀にはフランスの航海者ブーガンヴィルが、太平洋の島々、とくにタヒチを、文明に侵されていない「高貴な野蛮人」が住む楽園としてヨーロッパに紹介した。彼の旅行記に影響を受けたデイドロは、ヨーロッパ文明を批判する対話体小説『ブーガンヴィル航海記補遺』を著した。同じく18世紀にはイギリス人が太平洋に進出するが、これを象徴するのがクックによる3度の航海であり、太平洋のほぼ全域に渡る彼の航海により南方大陸の存在は否定され、またイギリスによるオーストラリアの領有が宣言された。欧米諸国による帝国主義が高まりを見せた19世紀になると、フランス、ドイツ、アメリカ合衆国も太平洋に進出し、数多くの島々が分割・支配の対象となり、同様な動きは20世紀に入っても続いた。ビキニ環礁で行われたアメリカ合衆国の水爆実験による**C**年の第五福竜丸事件にも見られるように、太平洋の島々に対する支配の歴史は、現代に至るまでこの地域に大きな影響を与えている。

設問X **A** ～ **C** に入るもっとも適切な語を一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|----------------|-----------|------------------|
| A | a カブラル | b バルボア | c マゼラン（マガリャンイス） |
| | d ドレーク | | |
| B | a セイロン島（スリランカ） | b フィリピン諸島 | c モルッカ（マルク、香料）諸島 |
| | d ニューゼーランド | | |
| C | a 1952 | b 1954 | c 1955 |
| | d 1957 | | |

設問Y 文中の下線部①～⑥について、もっとも適切な解答をa～dの中から一つ選びなさい。

- ① 現在のメキシコを含む16～17世紀の中南米地域に関連する説明として、誤っているものはどれか。
- a コルテスが、湖の上に築かれた首都テノチティトランを攻略してアステカ王国を滅ぼし、現在のメキシコをスペイン領とした。
- b 16世紀半ばに発見されたポトシ銀山など、中南米の鉱山から大量の銀がヨーロッパに流入し、価格革命と呼ばれる物価騰貴を引き起こした。
- c ポルトガル領では、先住民をキリスト教に改宗させることを条件に、先住民とその土地に対する支配を植民者に委託するエンコミエンダ制が導入されたが、17世紀以降は大農園（アシエンダ）制に取って代わられた。
- d アフリカに奴隷の供給拠点をもたないスペインは、ポルトガル、オランダなどの外国商人との間に、中南米植民地への奴隷供給請負契約（アシエント）を結んだ。

- ② デイドロがダランベールとともに中心となって編集した『百科全書』の執筆者に関する以下の説明のうち、誤っているものはどれか。
- a ルソーは『人間不平等起源論』において、平等で争いのない人間本来の「自然状態」を描き出し、文明化による人間の墮落を糾弾したほか、『社会契約論』における人民主権の主張によってフランス革命に多大な影響を与えた。
 - b モンテスキューは、諸国の法律や政治制度を比較して論じた『法の精神』の中で、イギリスの議会王政をモデルとする三権分立を主張した。
 - c ケネーは著書『経済表』で、農業を富の唯一の源泉とみなす重農主義の立場から、経済活動の自由放任に反対した。
 - d テュルゴーは、ルイ16世の下で財務総監を務め、ギルドの廃止や特権身分への課税などの改革を行ったが、特権身分の反発により失脚した。
- ③ クック以降の欧米人による世界各地の探検に関する説明として、誤っているものはどれか。
- a リヴィングストンは、宣教師としてアフリカ南部に派遣され、それまで欧米人に知られていなかったアフリカの内陸部各地を探検した。
 - b スタンリーは、ベルギー国王レオポルド2世の援助によってアフリカ中央部を探検し、後に同国の植民地となるオレンジ自由国の樹立に貢献した。
 - c 20世紀に入ると欧米各国の間で極地への探検競争が始まり、アメリカ合衆国のピアリが北極点に、ノルウェーのアムンゼンが南極点に初到達した。
 - d スウェーデンのヘディンは、中央アジアの学術的な探検を行い、楼蘭遺跡の発見などの成果を挙げた。
- ④ オーストラリアに関する説明として、誤っているものはどれか。
- a イギリス人による入植以前からの先住民はアボリジニーと呼ばれ、狩猟・採集を中心とする生活を送っていた。
 - b 19世紀半ばに金鉱が発見されたことでゴールドラッシュが起こり、移民が急増した。
 - c 20世紀はじめ、当時のイギリスの植民相ロイド＝ジョージの下でイギリス帝国内の自治領とされた。
 - d アジア系移民を制限し、有色人種を差別する19世紀後半以降の政策を白豪主義といい、この政策は20世紀後半まで続いた。
- ⑤ 19世紀における太平洋の分割についての説明として、誤っているものはどれか。
- a ニューギニア島はオランダ、ドイツ、イギリスによって分割・支配された。
 - b ニュージーランドでは、イギリスによる植民地化に対し、先住民による抵抗運動であるマオリ戦争が起こったが、鎮圧された。
 - c ハワイ王国は、最後の国王カメハメハ3世がアメリカ合衆国の圧力によって退位させられた後、アメリカ合衆国に併合された。
 - d グアムは、アメリカ＝スペイン戦争の結果、アメリカ合衆国領となった。
- ⑥ 第二次世界大戦後の核開発とそれに関連する事柄についての説明として、正しいものはどれか。
- a 第五福竜丸事件を受けた反核運動の高まりの中、カナダのバグウォッシュで第1回原水爆禁止世界大会が開催された。
 - b 核戦争の危機の下、世界の科学者・哲学者らが核兵器廃絶と戦争廃止を訴えるラッセル・アインシュタイン宣言を発表した。
 - c フランスは、1960年に核実験を成功させ、アメリカ合衆国、ソヴィエト連邦、中華人民共和国に次ぐ4番目の核保有国となった。
 - d 1968年には核拡散防止条約（NPT）が調印されたが、ソヴィエト連邦は1973年まで同条約に加盟しなかった。

II

つぎの1～2の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

- 1 前漢の高祖は、秦帝国の制度を受け継ぎながら、郡国制を施行するなど現実的な政治をおこなって国家の基礎を固め、匈奴にも和親策を用いた。この政策を転換して中央集権体制を確立し、さらに積極的な外征をはじめたのは武帝である。武帝は統治の基本として儒家の思想を重んじたが、それは後漢にも継承された。また後漢の西域経営は前漢と同じく盛んであり、西域都護の(1)は後漢の威勢を諸国におよぼした。しかし1世紀末ごろから中央の政治が乱れ、それが地方に及ぶと王朝の権威は失墜し、太平道の張角を指導者とする(2)がおこった。この反乱のち有力豪族が互いに攻伐するなかで後漢は滅亡し、三国時代がはじまるのである。
- 2 八王の乱からつづく混乱のなかで、華北には周辺諸民族が侵入して五胡十六国時代とよばれる混乱の時代をむかえた。五胡を中心とする諸政権が興亡をくりかえすなかで(3)族の拓跋氏がたてた北魏は農耕地帯に進出し、439年に華北を統一した。その第3代皇帝太武帝は、道教を重んじ、すでに華北に広まっていた仏教を弾圧したが、そののち仏教信者の孝文帝のときに仏教教団は勢力を回復した。孝文帝は(4)に遷都し、胡漢の融合を徹底させた。この北魏と後継となる4王朝を合わせて北朝という。一方、晋末の混乱を避けて江南に逃れた司馬睿が建国した東晋は100年ほど継続したが、やがて実権を掌握した武將の(5)によって滅ぼされた。これ以後、江南を中心として南朝の4王朝が興亡し、北朝と対立するのである。

設問X 空欄(1)～(5)に入れるのに最も適切な語をa～eのなかから一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| (1) a 班超 | b 李陵 | c 甘英 | d 張騫 | e 衛青 |
| (2) a 赤眉の乱 | b 黄巢の乱 | c 紅巾の乱 | d 永嘉の乱 | e 黄巾の乱 |
| (3) a 匈奴 | b 羯 | c 鮮卑 | d 氐 | e 羌 |
| (4) a 平城 | b 開封 | c 揚州 | d 長安 | e 洛陽 |
| (5) a 楊堅 | b 曹操 | c 劉裕 | d 李淵 | e 王建 |

設問Y 下線部①～⑤に関する設問について、最も適切な解答を(ア)～(オ)のなかから一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① 秦帝国と始皇帝に関する説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) 全国を郡に分け、その下に県を置いて、いずれも中央から官僚を派遣して統治した。
- (イ) 始皇帝は強力な遊牧国家を形成した匈奴の冒頓単于を撃ち、オルドスを奪取した。
- (ウ) 戦国時代の諸侯国が建設した長城を修築・拡張し、長大な万里の長城を建設した。
- (エ) 貨幣・度量衡・文字などの統一をはかり、焚書・坑儒による思想統制を実施した。
- (オ) 咸陽の東に建設された始皇帝陵の墓域で、兵馬俑とよばれる陶製人馬像が発掘された。
- ② 戦国時代に活躍した儒家の思想家に関する説明はどれか。
- (ア) その人物は、血縁をこえた兼愛(無差別の愛)および非攻(平和論)を説いた。
- (イ) その人物は、君主も人民も平等に農耕すべきであるとする平等説を主張した。
- (ウ) その人物は、秦の宰相となって六国の対秦同盟である合縦策に対抗する連衡策を唱えた。
- (エ) その人物は、礼による規律維持を唱えて君主の支配を擁護し、また門人の韓非や李斯を育てた。
- (オ) その人物は、秦の法律・税制・軍制などを改革する変法を推進し、富国強兵をめざした。
- ③ 三国時代(西暦220～280年)に関する説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) 司馬炎は魏の皇帝から禪譲を受けて、晋を建国した。
- (イ) 卑弥呼の使節が来朝し、親魏倭王の称号が授与された。
- (ウ) 試験によって官吏を登用する九品中正制度が創始された。
- (エ) 孫権が建国した呉は、江南地方の建業に都を置いた。
- (オ) 漢の一族を称する劉備は蜀を建国し、都を成都に置いた。

- ④ 五胡十六国時代の文化・宗教に関する説明として正しいものはどれか。
- (ア) 川の流れて沿って地形や都市を説明する地理書の『水経注』が著された。
 - (イ) 亀茲出身の仏図澄や鳩摩羅什は、仏典の漢訳につとめて仏教をひろめた。
 - (ウ) 華北における農業を体系的に叙述した農書の『齐民要術』が著された。
 - (エ) 田園に住み、その日常を詩文にした陶淵明は「帰去来の辞」を残した。
 - (オ) 仏教の隆盛に対抗して、孔穎達が儒教経典を注釈する『五経正義』を著した。
- ⑤ 南朝の制度・経済・文化に関する説明として正しいものはどれか。
- (ア) 儒教経典を注釈する訓詁学が盛んとなり、鄭玄などすぐれた学者が活躍した。
 - (イ) 梁の昭明太子が編集した『文選』は、古来のすぐれた詩文を集めたものである。
 - (ウ) 陳では5家を隣、5隣を里、5里を党とする村落制度の三長制が実施された。
 - (エ) 江南の開発によって稲作地帯が拡大し、「蘇湖熟すれば天下足る」と称された。
 - (オ) 仏教が隆盛となり、皇帝や貴族の保護によって雲崗や竜門に石窟寺院が造営された。

III

次の文章 1・2 を読み、下の設問 X・Y に答えなさい。

1 現在のイギリスという国家は、グレート＝ブリテン島、アイルランド島の一部及び付近の島々からなり、政治上は、大きくイングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドに分かれている。イギリスの地（ブリタニア）は、ヨーロッパの北西に位置する海軍上の要衝であり、古来、多くの文明や民族の交錯する場であった。紀元前 5 世紀ごろにはケルト（ブリトン）人が広く居住するようになっていたが、紀元前 1 世紀半ば以降のブリタニアは、カエサルがガリア征服によって、ローマの長期的な影響下に入った。その後、4 世紀ごろから、① **A** 年のノルマンディー公ウィリアムによるイングランド征服によって、経済力や人口に勝るイングランドがウェールズやスコットランドを抑えて国家形成の中心となり、大陸から封建制も導入した。イギリスは、これ以降、他民族の征服を受けることはなく、近・現代に至るまでヨーロッパの国々の中でも卓越した発展を遂げるようになった。14 世紀から 15 世紀にかけて、② フランスとの間で百年戦争が展開されたが、戦後にはバラ戦争が勃発し、③ 王位継承をめぐる内乱となった。1485 年にヘンリ 7 世が即位してテューダー朝を開き、絶対王政の道を歩み始めた。1536 年に、ウェールズはイングランドに併合されたが、スコットランドとアイルランドは、なおも独立を保ち続けた。

2 1603 年、エリザベス女王が没すると、スコットランド王ジェームズ 6 世がイングランド王を兼ね、ジェームズ 1 世と称した。これ以降、イングランドとスコットランドは同君連合の関係に入った。ジェームズ 1 世は王権神授説をとるなどして、議会を無視した政治をおこない、のちの④ **B** の治世の 1707 年にイングランドとスコットランドの両議会が合併し、両国が合同して、「大ブリテン王国」となった。

一方、以前からイングランドの支配と圧迫を受けていたアイルランドは、1801 年に正式に併合されて、両国は「連合王国」（イギリス）となった。しかし、ケルト系でカトリックの住民の多いアイルランドは、貧困問題に悩まされ、1840 年代の大飢饉を契機に、⑤ アメリカ合衆国へ大量の移民を送り出した。アイルランド自治法案をめぐって、議会は対立をくりかえしたが、ようやく 1914 年にアイルランド自治法が成立した。しかし、⑥ アングロ＝サクソン系の多い北アイルランドはこれに反対して、アイルランド独立を主張する **C** 党と対立した。アイルランドは 1922 年に、北部を除いてアイルランド自由国として自治領となり、その後 1937 年には国名をエールに変え、さらに 1949 年にはアイルランドに変えてイギリス連邦から離脱し完全な独立を達成していった。

設問 X 文中の空欄 **A** ～ **C** に入る最も適切な語を、a ～ d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- | | | | |
|---------------|-------------|------------|--------|
| A a 962 | b 987 | c 1016 | d 1066 |
| B a エドワード 3 世 | b チャールズ 2 世 | c ジョージ 1 世 | d アン女王 |
| C a 保守 | b 急進社会 | c シン＝フェイン | d トーリ |

設問 Y 文中の下線部 ① ～ ⑥ に関する次の問いについて、最も適切な解答を a ～ d の中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- ① アングロ＝サクソン人とデーン人について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a アングロ＝サクソン人は、ユトランド半島を居住地とするアングル人と、北西ドイツを居住地とするサクソン人などからなるゲルマン人の一派である。
 - b アングロ＝サクソン人は、グレート＝ブリテン島南部にアングロ＝サクソン七王国を建てた。
 - c デーン人はデンマーク王国を形成し、クヌート（カヌート）はイングランドにデーン朝を開いた。
 - d アーサー王は、アングロ＝サクソン系のイングランド王であり、デーン人の侵入を撃退した。

- ② 百年戦争について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a 百年戦争では、フランス東部の封建諸侯であるブルゴーニュ公が、イギリスと結んでフランス王権に対抗した。
 - b クレシーの戦いでは、長弓兵の活躍により、イギリス軍がフランスの騎士軍を破った。
 - c ジャンヌ＝ダルクは、シャルル8世の正式な国王戴冠を援護した。
 - d フランス北部の港市カレーは、百年戦争後も、イギリスの拠点として残された。
- ③ バラ戦争の内乱をおさめ、王位を継承することになったテューダー朝は、次のどの系統の家系に属するか。正しいものを選びなさい。
- a ランカスター派 b プランタジネット派 c ヨーク派 d ヴァロワ派
- ④ ピューリタン革命に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a 1628年に議会では権利の請願が提出されたが、翌年チャールズ1世はこの議会を解散した。
 - b 1640年に短期議会、長期議会があいついで召集され、王党派と議会派のあいだに内戦がおこったが、ピューリタンを中心とした議会派が勝利した。
 - c クロムウェルは、水平派や長老派を擁護しながら、王党派の拠点であるアイルランドやスコットランドを征服した。
 - d クロムウェルは、1653年に終身の護国卿となり、軍事的な独裁体制をしいた。
- ⑤ 次の記述の中で、1840年代のアメリカ合衆国で起きたものではないのはどれか。
- a テキサスがアメリカ合衆国へ併合された。
 - b アメリカ＝メキシコ戦争が勃発した。
 - c カリフォルニアでゴールドラッシュが始まった。
 - d 民主党のジャクソン大統領が選出された。
- ⑥ 次の事件や事項の中で、1949年に起きたものではないのはどれか。
- a ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（E C S C）の結成 b 中華人民共和国の成立
 - c ドイツ民主共和国の成立 d 北大西洋条約機構（N A T O）の結成

IV

次の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

1830年代、中国ではアヘンの吸飲が広がり、イギリス商人によるアヘンの密貿易が増えて、大量の銀が国外に流出するようになった。清政府は、1839年、アヘン厳禁を主張した（ア）を広州に派遣した。彼はアヘンを没収廃棄処分にし、アヘン貿易を厳禁した。イギリスは自由貿易の実現を唱えて海軍を派遣して、1840年、広州などを攻撃した。これがアヘン戦争であるが、清はイギリス海軍に敗れ、1842年、南京条約を締結した。この条約は、広州の公行の廃止、上海など5港の開港、賠償金の支払い、香港島の割譲などを定めた。さらに翌43年、領事裁判権、協定関税制、最恵国①待遇などを認める不平等条約を結んだ。②また44年にアメリカ合衆国と望厦条約、③フランスと黄埔条約を結び、イギリスに与えられたのと同等の権利を認めた。

1856年、アロー号事件を口実に、イギリスはフランスに呼びかけて共同出兵を行ない、清と開戦した。これがアロー戦争である。英仏軍は（イ）を占領して1858年にそこで条約を締結したが、その批准書交換の使節の入京を清軍が武力で阻止したことを機に、英仏軍は北京に攻め入り、1860年に北京条約を締結した。これらの条約により、外国公使の北京駐在、天津など11港の開港、外国人の内地旅行権、キリスト教布教の自由などが認められ、イギリスに九龍半島南部が割譲された。④

1894年、朝鮮で（ウ）農民戦争がおこると、日本・清両国がこの鎮圧のために出兵して日清戦争となった。戦争は日本の勝利で終わり、1895年、下関条約が締結されたが、この条約によって、（エ）の独立、遼東半島・台湾・澎湖諸島の日本への割譲、賠償金の支払いなどが決められた。これをきっかけに列強は清朝領土内での利権獲得競争に乗り出した。すなわち1898年にドイツが膠州湾を租借して（オ）に海軍基地を建設すると、ロシアは遼東半島南部に、イギリスは威海衛にそれぞれ租借地を設定した。⑤その他広州湾にはフランスの、九龍半島の新界にはイギリスの租借地が置かれた。列強は租借地を拠点に周辺の鉄道敷設権、鉱山開発権などを獲得し、勢力圏をきずいていったのである。

設問X 文中の空欄（ア）～（オ）に入る適切な語を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

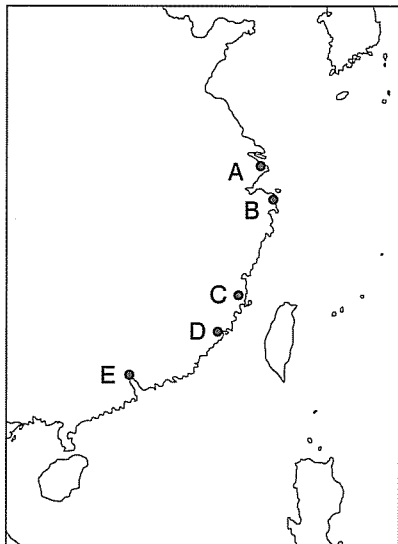
- | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|
| (ア) a 左宗棠 | b 曾国藩 | c 洪秀全 | d 林則徐 |
| (イ) a 広州 | b 杭州 | c 天津 | d 武昌 |
| (ウ) a 甲午 | b 戊戌 | c 辛丑 | d 庚申 |
| (エ) a 蒙古 | b 朝鮮 | c 満州 | d 新疆 |
| (オ) a 營口 | b 大連 | c 漢口 | d 青島 |

設問Y 文中の下線部①～⑤に関する下記の設問について、最も適切な解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① この条約で開港された5港とは、上海の他、厦門、広州、寧波、福州である。それらの位置を次の地図上にA～Eで示したが、その5港の組み合わせが正しいものは、次のa～dのなかのどれか。

- | | | | | |
|--------|------|------|------|------|
| a A－上海 | B－寧波 | C－広州 | D－福州 | E－厦門 |
| b A－寧波 | B－上海 | C－福州 | D－厦門 | E－広州 |
| c A－福州 | B－上海 | C－寧波 | D－広州 | E－厦門 |
| d A－上海 | B－寧波 | C－福州 | D－厦門 | E－広州 |

地図



- ② 香港はこの後、九龍半島南部、新界を加え、イギリスの統治下に置かれた。その後の香港に関する次の各文のなかで誤りを含むものはどれか。
- a 香港で医学を学んだ孫文は、香港を拠点に革命運動を展開し、1914年に香港で中華革命党を結成した。
 - b 太平洋戦争中、日本は香港を攻略し、占領した。
 - c 新界の租借期限が終わる1997年、香港全域はイギリスから中華人民共和国に返還された。
 - d 中華人民共和国は、返還後の香港を特別行政区とし、一国二制度のもとで資本主義制度を継続することとした。
- ③ こうした条約を受けて、1845年には上海に租界が設けられた。租界が設けられた上海の1920～30年代の動向に関連する次の各文のなかで、誤りを含むものはどれか。
- a 1921年、コミンテルンの支援によって、陳独秀を指導者とする中国共産党が、上海の租界で結成された。
 - b 1925年5月30日、上海の租界警察が中国人労働者のデモ隊に発砲して死傷者を出す事件が起こった。
 - c 1927年4月、北伐中の蒋介石は上海で多数の共産党員や労働者を虐殺するいわゆる上海クーデタを起こした。
 - d 1932年、日本が上海の租界に居住する日本人居留民の保護を名目に柳条湖に軍隊を送ったことで中国軍との交戦となったが、これは上海事変と呼ばれる。
- ④ 外国公使の北京駐在に対応して清が設置した官庁は何か。次のなかから選べ。
- a 総理衙門 b 軍機処 c 理藩院 d 統監府
- ⑤ 租借地に関する次の各文のなかで、誤りを含むものはどれか。
- a ドイツは租借地とした膠州湾を中心に山東半島を勢力圏としたが、それに反発した人々の間で義和団の活動が活発化した。
 - b ロシアは遼東半島南部を租借地としたが、その租借権は日露戦争後のポーツマス条約によって日本のものとなった。
 - c フランスの租借地の広州湾の入口には香港島が位置しており、イギリスとフランスは広東での利権をめぐってしばしば対立した。
 - d イギリスの租借地の威海衛は、山東半島東北端に位置しているが、そこは清の北洋艦隊の根拠地が置かれていたところであった。

V

次の文を読み、設問に答えなさい。解答は選択肢のうち最も適切なものを一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

1919年1月、第一次世界大戦の戦闘終結を受けて、各国の代表がパリに集まった。^①パリ講和会議のためである。この会議の目的は、戦後の国際秩序の構築であった。ただ、そのおよそ100年前、ナポレオンによる一連の戦争終結後、(A)の首都に殆どすべての関係国を招いて、ヨーロッパを中心とする国際体制を定めたウィーン会議とは異なり、^②パリ講和会議の協議は戦勝国のみで行われ、敗戦国は参加できなかった。

このパリ講和会議の基本原則は、その前年アメリカ合衆国大統領(B)が議会で発表した^③平和のための十四カ条の原則である。しかし^④パリ講和会議後結ばれた条約は、必ずしもこれらの原則を十分に反映したものとはいえず、少なからぬ方面に不満が残った。

また、同じくこの原則に基づいてパリ講和会議後、^⑤国際連盟が結成されたが、これもアメリカ合衆国が参加せず、ドイツや(C)の参加が認められないなど、国際平和機関としては問題を抱えた出発となった。

第一次世界大戦は参戦国の多くに深い傷を残した。戦勝国・敗戦国にかかわらず、各国は戦争遂行のため大戦中、従来とは大きく異なる政策を実施しており、それが^⑥パリ講和会議の結果と重なって、^⑥各々の国家と社会の大きな変化につながったのである。

設問X ()にあてはまる語を与えられた選択肢から選びなさい。

- | | | | |
|---|------------------|-----------|-----------|
| A | a オーストリア帝国 | b ドイツ帝国 | c 神聖ローマ帝国 |
| | d オーストリア＝ハンガリー帝国 | | |
| B | a マッキンリー | b ローズヴェルト | c ウィルソン |
| | | | d ハーディング |
| C | a ソヴィエト＝ロシア | b 中華民国 | c ブラジル |
| | | | d スイス |

設問Y 文中の下線部について、それぞれの問いに答えなさい。

- ① パリ講和会議について述べた以下の文のうち、正しいものを選びなさい。
 - a 第一次世界大戦前、三国協商を形成していた三カ国は、揃って戦勝国として講和会議に参加した。
 - b 第一次世界大戦前、三国同盟を結んでいた三カ国は、いずれも講和会議には招かれなかった。
 - c 第一次世界大戦が始まると、日本は日英同盟を根拠としてドイツに宣戦布告したが、その結果、戦勝国として講和会議に参加した。
 - d 朝鮮王朝の高宗は、講和会議に特使を送り、朝鮮半島における日本の侵略的政策の不当を訴えたが、認められなかった。
- ② ウィーン会議について述べた以下の文のうち、正しいものを選びなさい。
 - a ウィーン会議は1814年に始まり、ワーテルローの戦いによる一時的な中断を経て、1815年、ウィーン議定書の締結で閉幕した。
 - b ウィーン会議における中心的な理念は、オランダ外相のタレーランが主唱する正統主義であった。
 - c ウィーン会議では、ヨーロッパ大陸だけでなく、各国の海外植民地についても調整が行われた。
 - d ウィーン会議の結果、ポーランドはロシア・オーストリア・プロイセンの三国によって分割されることになった。

- ③ 以下の文のうち、平和のための十四カ条の原則としては正しくないものを選びなさい。
- a 外交は常に率直に国民の目の届くところで進められるべきで、いかなる種類の秘密の国際的合意もあってはならない。(秘密外交の廃止)
 - b 平時か戦時にかかわらず、公海上では、航行は絶対的に自由でなければならない。(海洋の自由)
 - c 地球上すべての民族に、確実な生命の安全と自立的発展のための絶対に邪魔されることのない機会が保証されるべきである。(民族自決)
 - d 和平に同意し、その維持に参加するすべての諸国間で、すべての経済障壁を可能な限り除去し、貿易条件の平等性を確立する。(関税障壁の廃止)
- ④ 以下の文はパリ講和会議後締結された講和条約に関わることがらについて述べたものである。文の内容が誤っているものを選びなさい。
- a ドイツは海外植民地をすべて放棄し、アルザス・ロレーヌをフランスに返還するなど領土を削減され、さらに、軍備の厳しい制限、巨額の賠償金を課された。
 - b オーストリア＝ハンガリー帝国の解体が確定され、オーストリアはドイツ人中心の小国となり、ハンガリー、チェコスロヴァキアはそれぞれ独立が認められた。
 - c オスマン帝国は、現在のシリアやイラクを仏・英の委任統治領とされるなど、広範囲にわたる国土分割の危機に直面したが、これに対してトルコ人の主権と国土を守ろうとする抵抗運動が起こった。
 - d 中華民国では、山東のドイツ利権の返還や、日本による二十一カ条の要求の撤回が認められなかったため、条約に調印した政府に抗議する激しい運動が起こった。
- ⑤ 国際連盟について述べた以下の文のうち、誤っているものを選びなさい。
- a 国際連盟の設置は、パリ講和会議を受けて締結された講和条約によって確定された。
 - b 国際連盟には、最高議決機関として、常任理事国と非常任理事国からなる安全保障理事会が置かれた。
 - c 国際連盟に付置された常設国際機関のうち、国際労働機関（ILO）は現在まで活動を続けている。
 - d 国際連盟は、満州事変後、中国東北部にリットン調査団を派遣して、事変の経緯を調査し、更には満州国設立に関しても調査を行った。
- ⑥ 第一次世界大戦中から戦後にかけて各国で起こった、国家や社会の大きな変化について述べた以下の文のうち、誤っているものを選びなさい。
- a ロシアではボリシェヴィキの一方支配が強まったが、国内各地で革命軍と反革命軍の内戦が継続しており、同時に反革命勢力を支持してシベリア等に出兵してきた諸外国との戦いも続いた。
 - b イタリアでは大戦後インフレーションで国民生活が破壊され、労働者による工場占拠が起こったが、ムッソリーニ率いるファシスト党はこれをきっかけに、労働組合を初めとする左翼勢力と協力して「ローマ進軍」を組織し、政権を奪取した。
 - c アメリカ合衆国では大戦中の戦時協力などが評価された結果、大戦後の1920年、女性参政権が認められて有権者の幅が拡大した。また経済的には、国際金融市場の中心の一つとなると同時に、空前の好況が続いた。
 - d イギリスでは1918年と1928年の二度にわたる選挙法の改正によって有権者が大幅に増加したが、それとともに自由党の勢力が衰え、替わって労働党が保守党と政権を争う政党に成長していった。

〔以下 余 白〕

